**ソーシャライザーへのお問い合わせをいただきありがとうございます。**

　ソーシャライザーとは、聴導犬または介助犬となるための候補犬の育て親のことです。盲導犬のパピーウォーカーと異なり、１年間候補犬を同じお宅で育てていただくわけではなく、候補犬の成長度に合わせて、日本聴導犬協会が決させていただいた期間（2～８ヶ月間）ソーシャライザー宅に育成委託させていただきます。

　日本聴導犬協会の候補犬となる子たちは、ほとんどが捨てられたり、いじめられた記憶を持つ子ばかりです。それらの子たちが持つ「悲しい嫌な記憶」を、少しずつ人間に癒して頂くために、基本のしつけよりも愛情を一番に与えていただきます｡「人がいじめた犬は、人が治すしかありません」。ただ、この愛情というのが甘やかせるのではなく、日本聴導犬協会の「きちんとした育犬方針」にしたがっていただくことになります。

　さらに、駅や商店街、お友達のお宅等、あちこちに一緒に連れて行っていただくことで、どんな状況にも対応できるような、社会性（ソーシャライジング）を身につけさせていただくのが、一番の目的です｡「人間より犬が好き」というような方より「陽気で、人も犬も好き」という方に向いているボランティアです。

**■ソーシャライザーへの条件**

1. 毎日、長時間、預かり犬を1人きりにしないようなご家庭
2. 室内飼いができるご家庭（子犬ですので、いたずらはします）
3. 他に犬がいないご家庭
4. 日本聴導犬協会の育犬方針に従ってくださるご家庭
5. 人間の子供を育てるように、甘やかすのではなく、愛情を持って育ててくださるご家庭

長時間預かり犬を一人きりにしないようなご家庭でなくてはならないものですから、専業主婦の方か、自営業の方、または、お年よりがいらっしゃるご家庭に限られます。

　また、子犬なので、家屋･家財も噛んだり、ひっかいたり、破損させることもあります。それでも、「ノウでしょ」と注意するだけで、たたいたり、叱責したりしない忍耐強い方にしか向いておりません。

　また、現在、月に1度の「子犬しつけ教室」＝パピークラスを行うのですが、東京近郊か、長野県宮田村または、兵庫県芦屋市までおこしいただくことになります。まずは、ボランティア登録をさせていただきまして、東京近郊で場所が見つかりましたら、その旨ご連絡させていただきます。みなさまからのご協力賜りたく、ご検討いただければ幸甚です。

社会福祉法人　日本聴導犬協会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　有馬もと

**ソーシャライザーになっていただくためのプロセス**

ソーシャライザーとは、聴導犬や介助犬となる候補犬たちに「人間社会のマナー」を教えていただくボランティアのことです。育成の委託期間（2～８ヶ月）ですが、お預かり期間は毎月のパピークラス（勉強会）で候補犬の成長度を診て、決めさせていただくことになります。1頭だけでなく繰り返しできる方を募集します。ご協力をよろしくお願いいたします。

* **ソーシャライザーになっていただくには：**
1. **送付させていただいた資料を必ずお読み下さい。**

（日本聴導犬協会の運営主旨である「障害者福祉」と「動物福祉」の考えをご理解くださる方にお願いしたいと思っておりますので資料をお読み頂き協会の主旨等をご理解ください）

1. **第1次審査：ソーシャライザー用アンケートにご記入ください**

（盲導犬の場合は、１家庭に1年間お預けするケースが多く、お子さんがいらっしゃるご家庭が望まれると聞きます。しかし、日本聴導犬協会の場合は、保護犬を候補犬とするので、気質の判定の意味あいもあっていくつからのご家庭に移しますので、お一人暮らしの方やお年寄りだけのご家庭にもお願いします。ご家族構成や家の周りなどについてお教え下さい）

1. **第2次審査：ご家族面接**

（アンケートを拝見させていただきまして、その後、ご家族全員との面接をさせていただきます。場所は長野か東京、兵庫県で行います）

1. **第3次審査：ご自宅訪問**

（子犬は1年間で17～20歳までに成長すると言われております。短期間であっても、成長には一日、一日が重要な期間になります。ご自宅や周囲の環境を拝見して、子犬の移動先を決める際の参考にさせてください）

**▼審査を通られた方のみ**

1. **子犬の委託前の講習会参加⇒　当日、子犬を連れ帰っていただきます。**

（審査を通られた方のみ、育成委託前の講習会に参加し、日本聴導犬協会の子犬育成方針を学んでいただきます。当日、子犬を連れて帰っていただきます）

1. **1ヵ月ごとのソーシャライザーの実技指導と子犬の成長度合いのチェック**

（毎月1回、ソーシャライザーのための実技指導と、お預かりいただいている子犬の成長度のチェックを行います。その時点で、ソーシャライザー宅を換えていくこともあります）

**▼費用の負担について：**

１：下記はすべて日本聴導犬協会で負担いたします。

1. 子犬の定期的にかかる医療費

（健康診断、各種ワクチン、病気の治療についての支払いは、協会でいたします）

1. 子犬の食費（日々のおやつはソーシャライザーさんの支払いになります）
2. リードの破損、おもちゃなどの必需品費（破損や紛失の場合には弁償していただきます）

※交通費等（月一回の講習会や緊急時の車代などは、ご自身の負担になります）

* 子犬が起こしたご自宅への損害についても、協会側からの負担はありません。

※交通事故などによる「子犬の治療費」、子犬が原因による「事故などの損害賠償」については、その時点の管理者であるソーシャライザーの方が、費用のいっさいの負担をお願いすることになります。

**パピークラスに参加されるみなさまへ**

**社会福祉法人　日本聴導犬協会**

今後、パピークラスをより充実させるために、

参加される方々に以下のことをお守りいただきたくよう、

お願い申し上げております。

１：パピークラス開始時に、担当犬以外の犬に声をかけないでください。

　かつて担当した犬であっても、現在は他のソーシャライザーが世話をしています。担当ソーシャライザーがせっかく犬を落ち着かせた時に、かつての担当者が声をかけると、犬が喜び、担当している方の迷惑になります。担当犬以外は無視をしていただくことが、他の方や犬たちにとって良いことなので、その旨、よろしくお願い致します。

２：パピークラス中は、私語は慎んでください。

　スタッフがしつけの注意点をお話している時に、ソーシャライザーの方同士でお話をしていることがありますが、限られた回数しか集まっていただくことはできないので、クラスに集中して、スタッフがお話する他の方へのアドバイスも必ず聞きとめられるようにお願い致します。また、話しかけられた方にとっても、必要なアドバイスが聞けなくなりますので、迷惑になることも、ご留意ください。

３：わからないことは、スタッフに聞いてください。

　ソーシャライザーの方々が体験したことは、その犬のほんの一面を見たことにしかなりません。犬達は、各々方の家でいろいろな表情や態度を示していますが、それはその時々の飼主に合わせた態度をとっているにすぎません。かつての担当犬についてアドバイスをされても、それはその家庭だけで通じることです。パピークラスではわからないことは、スタッフに尋ねるか、その時にスタッフに尋ねるのが無理なら、パピークラス後の団欒時にたずねてください。

４：スタッフが行う犬の訓練（孤立させる、なきやむまでほっとく）について、信頼をしてください

　犬は群れで生きる動物のため、最も辛いのは孤立させられることだといわれています。パピークラス時に、わざと泣き止むまで遠くでほっておいたりしますが、それはこれまでの経験と考えがあって行っていることなので、「かわいそう」とか、「ひどい」とかといった感情でそれらを受け止めないでいただきたいと思います。特に、犬好きな子犬にとってはパピークラスで他の犬と遊べないことが、とてもいい我慢の場になります。そのため、何回か、同じ子を孤立させることもあります。担当した犬に愛情を持たれるのでしたら、成長のために与える犬へのストレスをご理解ください。

協会の犬達はペットではありません。将来、聴覚障がい者の方の伴侶となるために、独自の教育を受けて、忍耐強い犬になる必要があります。そのため、教育者となるソーシャライザーのみなさんも、その点をご理解くださるよう、お願い致します。

**ソーシャライザーに関するアンケート**

（空欄にご記入ください）

記入日：　　　年　　月　　日

お名前：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日(西暦：　　　　)

ご住所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒

TEL：　　　　　　 　FAX：　　　　　　　　E-mail：

1.ご結婚していらっしゃいますか？（○をしてください）はい　　　　いいえ

2.家族構成・人数：

3,同居しているお子さんについて（年齢）：

4,（お子さんがいない場合でも）子どもに出会えますか？

5.家屋のタイプ：

6.犬を放せるような庭（○をしてください）

　　　　　　　　　　　　　庭がある{庭には囲いが：ある　ない}　　　ない

7.ほかの動物がいますか？　はい{何ですか？　　　　　　　}　　　　いいえ

8.飼っていない場合は、会わせることはできますか？

　　　　　　　　　　　　　はい　　　　　　　　　　　　　　　　　いいえ

9.どうやって会わせることができるか、教えてください：

10.お仕事をお持ちですか？（○をしてください）

　　　　　　　　　　　　　はい　　　　　　　　　　　　　　　　　いいえ

11.どのようなお仕事をお持ちですか？

12.雇用形態を教えてください。

13.一日のうちにどのくらい、犬をひとりきりにしますか？

14.車で、講習会等に来られる事は可能ですか？

15.子犬が急病等の時に、長野か赤坂(東京)、または近隣の協会指定医まで運ぶことは可能ですか？

16.繁華な場所に犬を連れて行く事はできますか？

17.そこはどんな場所ですか？

18.どのくらいの頻度で連れて行けますか？

19.しつけの良い犬とはどんな犬だとお考えですか？

20.将来聴導犬になるために、どのように社会化されなくてはならないとお考えですか？

21.これまでの犬に関する経験（外飼いか家の中飼いかも）をあげてください。

22,なぜ聴導犬のソーシャライザーになりたいと思われたかも、お教えください。

23.何かクラブ、他のボランティア活動、犬の訓練スクール等に入られていますか？

はいと答えられた方のみ、その内容をお教えください。

24．ソーシャライザー募集は何で知りましたか。

HP　　Facebook 　インスタグラム　　ツイッター　　mixi

新聞　　口コミ　　　TV　　　講演・デモ　　その他（　　　　　　　　）

●その他、何かご意見、質問等がございましたら、ご記入ください。

※みなさまのアンケートの結果を拝見いたしまして、ご連絡を申し上げます。

よろしくお願い申し上げます。